

平成 21 年 9 月 28 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会

1 日 時 平成 21 年 9 月 28 日 (月曜日)
午後 3 時から午後 4 時 45 分まで

2 場 所 馬高縄文館 学習室

3 出席委員

委員長 大橋 岑生 委 員 内藤 博子 委 員 羽賀 友信
委 員 中村 美和 教育長 加藤 孝博

4 職務のため出席した者

教育部長	野口 正巳	教育総務課長	押見 康雄
学務課長	武樋 正隆	学校教育課長	腮尾 理
子ども家庭課長	矢沢 康子	保育課長	若月 和浩
中央公民館長	葦沢 豊	中央図書館長	小野田 信子
科学博物館長	山屋 茂人	教育センター所長	山岸 文夫
学校教育課主幹兼管理主事	星野 和人	学校教育課主幹兼管理主事	島倉 昭宏
スポーツ振興課長	野口 博		

5 事務のため出席した者

教育総務課長補佐	長谷川 雅泰	教育総務課庶務係長	新沢 達史
教育総務課庶務係	小柳 亮介		

6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第 50 号	長岡市学校給食検討会議設置要綱の制定について
3	第 51 号	長岡市平成 21 年度子育て応援特別手当支給事業実施要綱の制定について
4	第 52 号	長岡市歴史的資料の保存及び利用に関する要綱の一部改正について
5	第 53 号	附属機関委員の委嘱について
6	第 54 号	臨時代理について（事務の委任について）

7 会議の経過

（大橋委員長） これより教育委員会 9 月定例会を開会する。

日程第 1 会議録署名委員について

（大橋委員長） 日程第 1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、会議規則第 44 条第 2 項の規定により、内藤委員及び中村委員を指名する。

日程第 2 議案第 50 号 長岡市学校給食検討会議設置要綱の制定について

（大橋委員長） 日程第 2 議案第 50 号 長岡市学校給食検討会議設置要綱の制定について を議題とする。事務局の説明を求める。

（武樋学務課長） まず制定の理由としては、安全かつ安心でバランスのとれた特色ある学校給食とするための具体的な取組みについて検討し、提言してもらう学校給食検討会議を設置するためである。設置するに至った経緯について簡単に説明すると、学校給食法の改正あるいは新しい学習指導要領の中で学校によって食育の推進が明確に記されたからである。長岡市ではこれまでも学校においては、食に関する全体の指導計画を持っている。その中で例えると、社会科や家庭科、あるいは総合的な学習の時間など各単限での食育に関する指導が決められているが、学校給食の食に関する全

体計画の中の一つとして位置づけられている。こういった食育の推進が明確になったために、改めて長岡市の学校給食について安全かつ安心でバランスのとれた特色のある学校給食について検討したいものである。もう一つは学校給食についての関心が高くなっていることである。例えば米飯給食の回数拡大や市場三大食材の積極的な活用といったものが注目されているので、こういったことをふまえ今回検討会議を設置して検討していく。次に要綱の概要についてであるが、検討会議の任務としては学校給食の現状及び課題並びに今後のめざすべきあり方に関する事項、学校給食を通じた食育に関する事項、食についての調査に関する事項、その他、学校給食の運営に関し必要な事項を検討し提言してもらおうというものである。委員の構成としては有識者、保護者代表、教育関係者その他委員会が必要と認める者を委嘱し、委員数は全体で12人である。任期としては平成23年3月31日までの1年半で考えている。また、専門的及び具体的に検討するため、会議にワーキンググループを設けることが出来る。施行日としては平成21年10月1日からと考えている。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(大橋委員長) 設置要綱の理由付けは理解したが、関心が高いことや食育の推進をもっと学校でやるべきとの考えだとすると期間的な問題はないかと思っている。任期が平成23年3月31日までとあるがそれ以降の考えはないのか。

(武樋学務課長) 検討会議でこういった取り組みをしていくか、今各学校でそれぞれ検討している。それを主としてある程度基本的な方針、方向性を具体的に示して、それに基づいて平成23年4月以降は各学校で今やっていることをさらに拡大しながら取り組んでもらう。

(大橋委員長) ワーキンググループを設けることであるが、12人の中に特に別の形でワーキンググループを作るのか。

(武樋学務課長) 12人の中から何人かを、こういった具体的な取り組みをしていこうかという会議にかけるような議題を整理させるといった実務的なワーキンググループとしたい。ワーキンググループとしては一つだけを考えている。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はあるか。

(加藤教育長) 補足になるが、米飯給食の回数についての議論があるが、長岡市はバランスのとれた食事をとらせるためには様々なものも取り入れるというスタンスを

とっている。主食を始め、地産地消と言われている長岡野菜が最近ずいぶん手に入るようになった。今回補正予算で対応する小さな規模の学校は、家にある炊飯器のように目の前でご飯から湯気が出ているのを食べられるわけである。そういった取り組みを11月頃から始める。農薬をぐっと落とした特別栽培米の取り入れも11月から行う。長岡版の学校給食の望ましいあり方はどういうものか。ご飯の回数も含め、いろんなことを検討していきたい。口に入る食材から、食習慣も含めて、いろんな活動部署の方から意見を出してもらうため、検討会議を設置するのである。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり決定した。

日程第3 議案第51号 長岡市平成21年度子育て応援特別手当支給事業実施要綱の制定について

(大橋委員長) 日程第3 議案第51号 長岡市平成21年度子育て応援特別手当支給事務実施要綱の制定について を議題とする。事務局の説明を求める。

(矢沢子ども家庭課長) 平成21年度子育て応援特別手当は4月10日に決定した国の経済危機対策の1つの事業である。全国一斉にこれから取り組みが始まる。不況下にある子育て支援ということで、幼児教育期における子育てを支援することを目的として、お金をお渡しするという事業である。対象児童については3才から5才で、所得制限なしに1回だけ子ども1人につき36,000円支給するという手当である。実は平成20年度にも同じ名前の手当てがあったのだが、それについては第2子に限るということで若干21年度と中身が違っていた。支給対象者は子どものいる世帯の世帯主である。ただ、DV(ドメスティックバイオレンス)等で実際の居住地と住んでいる場所が違うという家庭に対しては、実態の家庭に対して支給することになる。12月中旬に該当世帯が分かるので支給申請書を送付して来年の年が明けてから順番に

支払いをする。全体の予算であるが、おおむね 7,120 人という数字を見込んでいる。1 人 36,000 円なので、2 億 5600 万円程のお金がかかってくるが、これは全額国からの交付金という形で交付されることになっている。参考までに新しい政権になって子ども手当という言葉が盛んに言われているが、それとは全く別のものである。なお、要綱の内容は全国とほぼ同じになっており、3 才から 5 才の子どもの世帯主に 1 回 36,000 円を支給することについてまとめてあるものである。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(大橋委員長) 広報で市政だより 10 月号及び 12 月号に掲載予定とあるが、DV の内容について触れるのか。どういった形で入れるのか。

(矢沢子ども家庭課長) 10 月号については DV 被害等で居住地と実際に住んでいるところが違う人は申し出て下さいということを入れてある。国の動きがなかなか読めず、補正が凍結という話も聞かれるので、今の段階では何か変わる可能性はあると思っている。

(大橋委員長) 一般の市民の皆様への決定という意味との考えであると思うが、いろんな状況があるから難しい判断がこれからあると思われる。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり決定した。

日程第 4 議案第 52 号 長岡市歴史的資料の保存及び利用に関する要綱の一部改正について

(大橋委員長) 日程第 4 議案第 52 号 長岡市歴史的資料の保存及び利用に関する要綱の一部改正について を議題とする。事務局の説明を求める。

(小野田中央図書館長) 長岡市歴史的資料の保存及び利用に関する要綱は、古文書・公文書で廃棄になる保存年限が過ぎたもので歴史的なものを保存することについて定めた要綱である。この中で、関係する機関等について記述しており、「水道ガス

事業管理者」となっているが、ガス事業について本年 10 月 1 日から民間事業に譲渡することとなり、組織名が変更になり「水道事業管理者」に変更するものである。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は原案のとおり決定することに異議はないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり決定した。

日程第 5 議案第 53 号 附属機関委員の委嘱について

(大橋委員長) 日程第 5 議案第 53 号 附属機関委員の委嘱について を議題とする。事務局の説明を求める。

(武樋学務課長) 長岡市公立学校通学区域審議会委員であるが、現委員の任期が今月末で切れるため、次期委員を委嘱するものである。委嘱期間は 10 月 1 日から平成 23 年 9 月末までの 2 年間で、定員は 35 人である。今回、29 名は地域代表で、主に中学校区から 25 名、小学校区 4 名となっている。上野氏、長谷川氏については、それぞれ小学校長会、中学校長会からの推薦で学識経験者となっている。岡村氏、諸橋氏については、今現在通学区域審議会委員の中から 6 名に学校の適正規模と効果的な配置検討部会を昨年度から設置し、委員になってもらっているが、部会は継続する予定であるため、地域代表ではなく部会委員の学識経験者として委嘱を行う。全委員数は 33 名である。33 名中、新任委員が 12 名、再任が 21 名であるが、2 年ごとの改選のときに 3 分の 1 を改選しており、例年同様である。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(中村委員) 通学区域審議会については、通学区域の話をするのだろうが、具体的にどのような会議なのか。

(武樋学務課長) 通学審議会の役割は、それぞれの学校の通学区域を決めることと、学校の適正配置、統廃合を諮問し、答申を受けるものである。これまでは、年 1 回から 2 回、主に通学区域の変更や許可区域、本来ある学校区のとなりの学校のほうが通学距離が近い場合や、受け入れ態勢が整っている場合、地元の合意が得られている場

合、隣の学校に希望すればいける区域があるが、その区域の設定について検討している。

(大橋委員長) この許可区域のある地域として、馬高縄文館のある関原小学校や日越小学校との関係があり、地域住民の皆さんもいろいろな思いがあるようである。そういう事柄にも関わり、教育委員会へ照会や意見、希望を伝えている会議である。

(武樋学務課長) ほとんどの町内は、許可区域について理解をいただいている。委員長の話に出た区域については、コミュニティとの関係もあるようである。基本的に許可区域に設定してあるが、地元から声があればきちんと対応、手続きをとりたい。

(大橋委員長) 一般市民から、長岡市は弾力的だと聞くことがある。

(武樋学務課長) 学区外就学については、8つほど基準があり、引越しをする予定で新しい学校に通うとか、引越しをするが今まで通っていた学校に通うとか、教育的配慮で、どうしても親御さんがいじめ等の問題があり他の学校に行かせたいとか、部活動の関係で違う学校を希望する等の基準である。許可区域については、学区外就学の一部の基準である。そういう内容についても審議をしている。

(大橋委員長) その他質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり決定した。

日程第6 議案第54号 臨時代理について(事務の委任について)

(大橋委員長) 日程第6 議案第47号 臨時代理について・事務の委任についてを議題とする。事務局の説明を求める。

(押見教育総務課長) 平成21年8月27日付で、長岡市長より教育委員会に旧長谷川家住宅条例の第4条に規定する入館料の減免に関しての事務委任の協議があった。本来、この協議は合併と同時に行われる事務であった。合併時に長谷川家が被災しており復興中であり開館していなかった。そのため、入館料の発生がなかった。今年度復興をしたが、開館から8月末まで減免の取扱としていた。9月の入館料の取扱の事

務にあたりこの協議がなされていないことが判明し、必要な手続きを進めるため、臨時代理を行ったものである。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(大橋委員長) その他質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は原案のとおり承認することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり承認した。

(大橋委員長) 本日の日程は終了する。次に協議報告に入る。まず、9月議会における教育委員会関係の質問事項について、事務局から説明を求める。

(野口教育部長) 9月定例会が今月10日から開催され、明日29日が最終日である。一般質問は全部で9人であった。一般質問は10日、14日に終了し、文教福祉委員会は18日に終了している。今回の一般質問及び文教福祉委員会の際の質問事項について、簡単に説明する。まず、平成21年9月議会教育委員会関係質問事項である。古川原直人議員からは寺泊地域の振興についてという質問の1項目として、寺泊水族博物館の今後のあり方について、今後の整備方針について質問があった。続いて、栃尾地域の長谷川一作議員からは、守門岳から日本海、自然環境を生かした地域振興策についてという大きなくくりの中で、教育委員会に関連する外山修造の功績等の周知策等について、2点の観点から質問があった。議員も外山修造氏について、あまりご存じではなく、7月に外山修造を広く周知する地元の講演会に出席をし、初めて知ったということで、もっとPRすべきとのことであった。続いて、大平美恵子議員から長岡市の子ども家庭支援について3点の質問があった。家庭児童相談室の役割、放課後児童クラブの児童厚生員の関係、いずれも施設の重要性を認識され、人材育成についてどのように考えているか最後のまとめである。続いて、中村耕一議員からは、未婚者支援という観点、ヒブワクチンの公費助成についての2点の質問であった。続いて、細井良雄議員は、養護学校の増改築整備についてということで、昨年来から私どもも予算要求をし、設計に取り掛かる準備をしているが、その進捗状況についてであった。

今回は、建物だけではなく子どもたちの将来をにらんだカリキュラムについても検討をしていくことについての質問と、その他に全体的な施設の計画、バス通学の充実の観点からの質問であった。続いて、文教福祉委員会である。まず、藤田委員からは特に大島地域を念頭に置き、保育園の待機児童の現状と対応についての質問があった。続いて、加藤尚登議員からは、1点目が地産地消と農林省の補助事業である産直推進事業の進捗状況についての質問があった。2点目が委託校の学校給食運営委員会について、3点目が学校給食に関する有識者会議の設置スケジュール、委員構成についての質問があった。3点目は、さきほどの議案 50 号長岡市学校給食検討会設置要綱の制定についても学務課長が説明した会議スケジュール、委員構成についての質問であった。大平委員は、3点の質問があった。まず、子どもふれあいサポート事業について、長岡市要保護児童対策事業について、外国人児童生徒支援事業について、いずれも現状についての質問であった。続いて、中村委員からは、新型インフルエンザが集団発生した場合の対応について、発生状況から拡大時の対応策について、4点の観点からの質問であった。続いて、細井委員からは1点目はさきほどの一般質問に続いて養護学校の通学についての質問である。2点目は遊具の安全性の確保について、昨年の厚生労働省が所有している遊具の安全性の基準が変わったことに対する教育委員会所管遊具の現状についての質問であった。続いて、家老委員からは図書館についてであった。図書館の利用状況、指定管理者となっている地域館での運営実態をベースにし、ここ何年か図書資料が予算的に減額になっていることに対し、市の見解を問われた。最後に松井委員からは2点の質問があった。1点目は長岡市がこれまで取り組んできた外国語活動の状況と、それをふまえたこれからの展望についてである。2点目は携帯電話に関する質問であった。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(大橋委員長) 一般質問については、文教福祉委員以外も教育に関しての質問できるのか。

(野口教育部長) 一般質問は、長岡市の場合、委員会に関係なくできるものである。それぞれクラブで意見調整をしながら決めているようである。中には、個人的に興味があるものについて、質問をする議員もいる。

(大橋委員長) 他に質疑、意見がないようなので、次に平成 21 年度全国・学力学

習状況調査結果分析（市全体）の活用について、事務局から説明を求める。

（臆尾学校教育課長） [資料により説明]

（大橋委員長） 質疑、意見はないか。

（大橋委員長） 学校訪問について、定例的なものは考えているのか。

（臆尾学校教育課長） 学校教育課では、学校支援訪問を行っており、すべての小中学校をグループにわけ、管理主事、指導主事ペアで課題を解決、指導するためにまず、重点支援校を決め、年間4、5回訪問し、それ以外も1回は訪問する。学校の課題にあわせた支援を行っている。教育センターは、教科等で個別の指導訪問を行う。両課で打ち合わせを行い、今後特に調査結果でがんばってほしい学校には、個別に指導、訪問を行う。

（大橋委員長） 課題が多い学校も中にはあるだろうし、顕著に伸びている学校もあると思う。すばらしい取り組みがあるだろう。ぜひ、指導を続けていただきたい。メールがマイナスというのはいいことだと思っていたが、自宅で2時間以上学習時間している子どもが少ないということに驚いた。この取り組みについては、各学校間で話し合いを行っていると思われるが、ぜひ学校支援訪問の際に指導をお願いしたい。

（臆尾学校教育課長） 昨年の調査結果から、家庭学習に力を入れた中学校があり、結果が上がったと聞いている。そういう情報を収集し、提供したい。

（加藤教育長） それだけでよくなったかはわからない。大事なのは職員の意識改革だと思う。子どもたちに熱意を持って指導し、子どもも一生懸命やり、それが家庭学習のきっかけになったと思っているが、ただ宿題を出せばいいものではない。課題があると思われるものは、どういう傾向があるか。

（臆尾学校教育課長） 各教科において、平均よりもマイナス5%というのは、数字として心配があると担当から聞いている。どうしてそのような結果になったかも含め、分析し支援指導を行っていくと考えている。

（加藤教育長） 気をつけてほしいのは、18問という限られた質問で、正答率でしか評価がない。この結果で平均が劣っているから課題があるという決め付けは、学校のやる気を失わせるきっかけにならないか心配である。訪問の仕方やいろいろなことを総合的に見て行ってほしい。人数が少ない学校、学年が毎年違う、問題が毎年違うことなどがあるので、単に数字だけで判断することのないよう慎重にお願いしたい。

(大橋委員長) 他にないようなので、次に第8回いきいき教育推進懇談会について、事務局から説明を求める。

(腮尾学校教育課長) 平成13年度から始めているが、家庭・地域・学校のそれぞれの役割や連携について考えるシンポジウムである。昨年度から地域の活動に焦点をあて、各学校の取り組みを紹介し、最後に講演会を行う。方向性は昨年と一緒である。10月18日(日)にリリックホールで開催する。特色ある教育活動の紹介で、3つある。ひとつは岡南中学校区4校の取り組みで十日町小学校に紹介してもらう。2つ目はキャリア教育のモデル地区の指定をしているが、三島中学校の取り組みを紹介する。3つ目は、希望が丘コミュニティセンターの「子どもの城」が国の表彰を受けたが、その取り組みをコミュニティセンターから紹介してもらう。最後の講演であるが、NPO法人地域循環ネットワークの金子理事長から「ゴミから資源へ！～長岡から循環型社会を作っていく～」という講演をしていただく。金子氏については、学校給食の残飯を集めており、ゴミから資源への活動をしている方で、こういった活動を広く市民にも紹介できると考えている。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) なしと認める。次に平成21年度就学時等家庭教育講座の実施について、事務局から説明を求める。

(矢沢子ども家庭課長) 家庭教育講座を始めて3年目になるが、すべての保護者に家庭で大切にしていきたい指導内容について話をしている。今年度は51校から希望をいただいております、主に10月の就学時健診時又は2月の1日入学を利用し、教育委員会の管理主事、指導主事が1校1校訪問し、40分から50分話をしてもらう。現場の先生からもなかなか学校で指導できない事についても直接指導してもらえいい機会であると、好評である。すべての保護者が集まる機会が健診時もしくは体験入学時しかないことからタイトなスケジュールとなっているが、1講師から2校ずつ担当をもらっている。本年度も実施する中で、来年度に向けていい内容としたい。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(加藤教育長) 要望であるが、家庭と学校の関係について、特に強調してほしい。これは、学校は当事者であるから言いにくいことであるから、ぜひお願いしたい。

(大橋委員長) 他に質疑、意見がないようなので、次に平成 22 年度保育園児の入園募集について、事務局から説明を求める。

(若月保育課長) 市政だより 10 月号に掲載される。平成 22 年 4 月からの保育園への新規の児童の入園の受付を 11 月 2 日から 20 日の間に行う。申込書は 10 月 23 日から各保育園で配布を行うため、保護者は入りたい保育園から申込書をもってもらい、再度保育園に提出してもらおう。申込書については、保育園にいけない保護者もいることから、保育課及び各支所市民生活課でも受付を行う。定員は昨年とほぼ同じである。へき地保育園の福戸保育園については、現在休園をしているため、記事からは割愛している。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(大橋委員長) なしと認める。次に郷土交流室の開設について、事務局から説明を求める。

(小野田中央図書館長) 互尊文庫の 3 階に会議室があり、図書館の関係で行事したり会議をしたりしているが、古文書等の資料が多くなり、せっかくの資料を多くの市民に活用してもらうため、会議室を郷土交流室として利用してもらおう。会議室の半分は資料が積まれているが、20 人くらいが資料を見ながら会議をすることができる。郷土の歴史について、文書資料室の資料や持込資料を使って、グループで歴史を調べる方に会議室を貸し出す。文書資料室が開館している 9 時半から午後 5 時半までで、午前、午後の単位で貸しだしを行う。文書資料室が貸出の受付を行う。利用開始は 11 月 1 日からであるが、10 月 1 日から事前受付を行う。中越大震災後、たくさんの古文書が地域から発掘され、そういった資料を利用し、自分たちで地域の歴史を学んでほしいと計画したものである。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(大橋委員長) 利用希望者はあるのか。

(小野田中央図書館長) 文書資料室は互尊文庫の 2 階に閲覧室があるが、テーブル 1 つ分しかスペースがない。文書資料室の地図や資料を広げるにも場所がなかったため、3 階の会議室を利用して、地域の歴史を学んでほしい。

(大橋委員長) 他にないようなので、次に展示会「復興の軌跡」の開催について、事務局から説明を求める。

(小野田中央図書館長) [資料により説明]

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) なしと認める。次に歴史講座「中越大震災～史料保存の現場から」の開催について、事務局から説明を求める。

(小野田中央図書館長) [資料により説明]

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(羽賀委員) 震災アーカイブ展はホームページに載っているか。

(小野田中央図書館長) 中越防災安全推進機構のホームページに載っている。

(羽賀委員) 全国に情報を流すと反響があると思う。

(中村委員) スタンプラリーで3ヶ所以上集めると防災関連グッズとあるが、何か。

(小野田中央図書館長) 細かいところはまだ決定していない。今後決定する。

(大橋委員長) 市政だよりでも紹介されるのか。

(小野田中央図書館長) 紹介する。

(大橋委員長) 他にないようなので、次に長岡城跡発掘調査について、事務局から説明を求める。

(山屋科学博物館長) シティホール整備事業に伴い、建設により破壊される部分の長岡城跡の記録保存のための発掘調査を今年1月下旬から10月2日まで実施している。今年度の調査成果として二の丸の西堀、南堀、侍屋敷の南堀を確認した。従来図面で残されていたが、若干のずれがあることも判明した。併せて井戸跡、住居の柱穴跡が確認された。遺物として焼き物、陶器類が多く出土している。それもかなり上薬が溶けており、2度の戦災に伴い影響をうけたものと思われる。また牧野の殿様の出身地の焼き物が多く出ていることも判明している。これらを含めた現地説明会を9月12日に開催した。科学博物館では7月にその時に発掘された遺物を中心に展示会を行った。今回の開発に伴い遺跡調査を行ってきたが、3月に報告書を作成し、記録保存を行うものである。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(大橋委員長) 発掘された跡はそのまま埋められるのか。

(山屋科学博物館長) 埋めた部分とそのまま開発に使う部分もある。

(内藤委員) 7月に科学博物館の展示を見に行き、瀬戸物がたくさんあったが、もっといい物があつたらうにという気がしたが、いかがか。

(山屋科学博物館長) 残念ながら、遺物は少なかった。高田城、村上城などは投げ込まれたものや落ちたものなどが堀から多く出ているが、城からはあまり出ていない。今回の調査も長岡城の堀をいくつか調査したが、あまりなかった。よほどよく掃除をしていたのか、柿川の水を引いて流していたと思うが、その水が多かったのではないかと考えられる。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) なしと認める。次に全国中学校体育大会出場者の成績について、事務局からの説明を求める。

(野口スポーツ振興課長) 今年度の全国中学校体育大会出場者の成績について、説明する。競技大会ごとにわけてあるが、学校名、種目、選手氏名、県大会、北信越大会での成績、最後に全国大会での成績を記載している。まず、水泳競技であるが、4校20名が出場し、上位成績に該当するのは男女400mリレー、飛込みである。陸上競技は5校6名出場中、3名が入賞している。柔道大会は南中学校7名出場し、個人でベスト8であった。テニスは西中学校が出場したが、残念ながら1回戦敗退であった。バドミントンは越路中学校が出場し、残念ながら1回戦敗退であった。卓球大会にも南中学校が個人で出場したが、1回戦敗退であった。全部で12校73名が出場、入賞は8種目であった。去年は、出場校7校、出場者は43名、入賞は2種目であった。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) なしと認める。他に協議報告事項はないか。

(大橋委員長) これをもって協議報告事項を終了する。

(大橋委員長) 本日は、定例会の前に四郎丸小学校を訪問し、馬高縄文館を見学した。訪問について、委員の皆さんの意見、感想はいかがか。

(中村委員) 四郎丸小学校は、私の子が南中学校に通っており、中学区内の小学校として大変興味をもって拝見した。日ごろから四郎丸小学校卒業の子どもたちとかか

わりを持っているが、明るく活発で、リーダーシップがある子が多いが、学校を見学して授業も先生も元気でわかりやすく、子どもたちも落ち着いて授業を受けていた。学校の雰囲気も明るく、掲示物がきれいであった。居心地のいい広い校舎であった。3年生と一緒に給食を食べたが、輪になって席をならべ、子どもが席に誘導してくれたが、途中で子どもたちからの質問タイムがあった。その中で「私は　　の食べ物が好きですが、先生は何が好きですか？」という質問があり、私は卵焼きと答えたが、その答えに対し、先生が「卵焼きには何が入っているか」という質問があった。懇談のときにも授業だけが授業でなく平日頃から課外授業があるという話を聞いた後だったので、それを体験することができた。その後はいろいろな話を聞かせてくれた。

（内藤委員） 四郎丸小学校は街中の中心であり、子どもたちが活発であり、落ち着いた授業と感じた。学校が長いので、10m、20mという距離を説明していた。階段をあがるときに「この角度は何度」と分度器で示されていた。初めての経験だったが、いろいろなところで教育ができると感じた。子どもたちの夏休みの宿題の展示がされており、工作が非常に緻密なものが多いと感じた。私は2年生と給食を食べたが、コの字に並び、真ん中の席についた。自己紹介を行うとのことで、できればもっと子どもたちのそばがよかったと伝えた。また、子どもたちは自分の給食の好きなものをあげていた。カレーライスと揚げパンが大好きであった。あとはシチュー、わかめご飯、から揚げなどであった。子どもたちは非常においしそうに給食を食べていた。「好き嫌いない子」と聞いたら、手が挙がらなかったが、「好き嫌いある子」と聞いたら、ぱっと手が挙がった。「私も牛乳が苦手」と伝えると「俺も！」と手を挙げていた。「大人になると食べることができたり、飲めるようになるよ」というとわかったという顔をしていた。「内藤先生」と紹介されたが、先生ではなくみんなのお母さんと同じように家にいるお母さんだということ「へえ」という顔が印象的だった。馬高縄文館は初めて入館したが、普段は入ることができない場所にも入ることができた。縄文の人がごみとして捨てたものが、今は扉の厚い、酸のない部屋にあることがおかしかった。

（羽賀委員） 四郎丸小学校は136周年という非常に古い伝統校を感じられた。学校全体の持っている教育力を感じさせられた。子どもが先生を誘って一緒に遊べるというのは、これまで訪問したところでもあまり多くは見かけなかった。社会教育が非常

にうまく地域から学校に連動している。気をつけなければいけないのは、それで先生が振り回されてはいけないというところ。校長先生がしっかりとしているので大丈夫と感じた。また、子どもたちがしっかりと授業を受けている。これはやっぱり休みにきちんと遊ばせていると感じた。今子どもがあれだけ元気に挨拶がきちんとでき、授業にも集中しているのは少なかったと思い、感銘を受けた。馬高縄文館は、非常にうれしく思っている。私はエジプトによく行くが、実はエジプト文明よりも古い。そういう自慢を子どもたちが郷土史として自信と誇りを持って伝えてほしい。年表にも日本の古さと世界と比較できる形になっていた。オープニングのときに小林名誉館長が言っていた「なぜここに住み続けたのか」という理由のひとつが春分、秋分のときに太陽を確認できた、そういう眺めのいい場所だったと確定されるのであれば、ここから縄文人が見たであろう風景が体感できるような場所を設定してもらえれば、将来的に子どもたちにとって夢の多い施設になると思う。

（加藤教育長） 136年の伝統がある校風、風土は重みを感じた。1年生と一緒に給食を食べたが、32名であった。もう1人いると学級がおそらく分かれるだろうということだ。先生は採用2年目であったが、非常にしっかりしていた。私を紹介する暇もなく給食指導をしていた。大変かと聞いたところ、子どもたちから力をもらっていると答えがきた。すばらしいと感じた。しかし疲れるだろうとも感じた。子どもたちが帰った後にゆっくりできるといいが、授業研究や研修会があるため疲れる。学年に応じて会議等を行うべきだ。あの騒音の中にいるので非常に疲れるだろう。多忙感を感じるであろう。ともかく、立派な若い先生が多くて驚いた。

（大橋委員長） 私も驚いたことがあった。教育委員会の施策について、いろいろな考えがあり、質問があるだろうと思い投げかけるが、職員が非常に落ち着いており、明るく活発な方が多い。ほとんどの方が要望等はなく喜んでいるという印象である。私が給食と一緒に食べたのは2年1組で、新採用の先生であった。子どもたちがにぎやかだったが、放送が入ると静かになり、けじめがしっかりとついていた。1年生のときの教えがよかったからと謙遜していたが、しっかりしていて驚いた。私についても子どもと同じように分け隔てなく接し、非常に気持ちよかった。具体的な動きの中ではきびきびと新採用らしいところもあり、ちょっと配慮がないかなと感じる時もあったが、のびのびと一生懸命やっていた。先生方がすごいなと感じた。馬高縄文館

は、館内のことはまったく問題がない。関原地域の方が非常に喜んでいる。中には様々な今後の都市計画の中で、そこそこをつなげながら、街の駅のようなものができたらもっといいなという声を聞いた。関原は大変盛り上がり、自慢している感じがした。大勢の方に訪れてもらい、いろいろな情報を発信して行ってほしい。

（大橋委員長）他に意見、質問はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

（大橋委員長）これをもって本日の定例会を終了する。

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会委員長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員